

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

農 村 地 域 防 災 減 災 事 業

土 井 の 池 地 区

徳 島 県

土地改良事業計画概要書

目次

第1章 変更を必要とする理由	1
第1節 変更に至った経緯と概要	1
第2章 計画変更の内容	1
第1節 事業費の変更	1
第3章 目的	1
第1節 目的	1
（1）必要性	1
（2）緊急性	1
第2節 地積	1
第4章 地域の所在及び現況	1
第1節 所在	1
第2節 現況	2
（1）地形	2
（2）気象	2
（3）営農状況	3
（4）水利状況	3
第5章 基本計画	4
第1節 一般計画の概要	4
（1）受益面積	4
（2）土地利用計画	4
第2節 主要工事の概要	4
第3節 環境との調和への配慮	4

第 6 章	工事又は管理の要領	4
第 7 章	換地計画の要領	4
第 8 章	費用の概算	5
第 1 節	概算総事業費	5
第 2 節	概算総事業費の負担内訳	5
第 9 章	効用	5
第 1 節	想定被害額	5
第 2 節	効 果	5
第 1 0 章	他事業との関係	5
第 1 1 章	計画概要図	6

第1章 変更を必要とする理由

第1節 変更に至った経緯と概要

実施設計時の堤体安定計算において、堤体基礎の地盤改良が必要となり工法変更が必要となった。さらに、施工において池内に一部汚泥が堆積しており、堤体改修のために撤去と処分が必要となり、これらの対応により工事費が増額となった。以上の理由により、事業費の変更を行うものである。

第2章 計画変更の内容

第1節 事業費の変更

事業費を次のとおり変更する。

(単位：百万円)

種 別	変更前	変更後	増 減
合 計	156	205	49 (20.6%)

第3章 目的

第1節 目的

(1) 必要性

土井の池は、徳島市の西方60km吉野川の北岸、三好郡東みよし町に位置し、築造経過年は、約100年以上である。洪水吐工の能力不足及び堤体工の余裕高不足、耐震性能の不足等により堤体決壊の危険にさらされている。このため、農業用水の安定取水と地域防災の安全率の向上を図るために、早急な改修を行なう必要がある。

(2) 緊急性

ため池のすぐ下流部には人家があり、現状のまま放置すれば、台風・梅雨等の豪雨時には堤体決壊による人命被害が生じる可能性があるため、早急に対策工事を実施しなければならない。

第2節 地積

受益面積

内 訳	6.2 h a
田	4.7 h a
畑	1.5 h a

第4章 地域の所在及び現況

第1節 所在

事 業 名	地 域	
農村地域防災減災事業	ため池	三好郡東みよし町足代
	受益地	三好郡東みよし町足代

第2節 現況

(1) 地形

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高	
	傾斜	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°～15°			15°	20°	計	最高 m	最低 m
	区分	以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8°～10°	10°～15°	8°～15°	15°～20°	20°以上			
農村地域防災減災事業	面積 (ha)			4.7			4.7	1.5							1.5	89.4	70.1
	比率 (%)	-	-	76.0	-	-	76.0	24.0	-	-	-	-	-	-	24.0		

(2) 気象

1 一般気象

観測所名	池田観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	昭和51年～令和元年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (℃)		23.3℃	9.5℃	14.1℃	
降水量	平均 (mm)	193.7mm	87.0mm	1,470.4mm	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	46.0日	80.0日	126.0日	
	基準年 (mm)	—	—	—	
根雪期間		—			
無霜期間		—			
最多風向		西南西	最大風速	m/s 17.0	徳島気象台 池田観測所 発生時期 9月～11月(秋) 発生年月日 平成16年9月7日

2 特殊気象

観測所名 池田観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 昭和51年～令和元年	数 量	年月 日	発生 確率	数 量	年月 日	発生 確率	数 量	年月 日	発生 確率	数 量	年月 日	発生 確率	数 量	年月 日	発生 確率	
最大日雨量 (mm)	262.0	H30.7.6	1/45	256.0	H23.5.29	1/40	214.0	S58.9.28	1/30	200.0	H16.10.20	1/20	192.0	H2.9.19	1/12	
最大時間雨量 (mm)	64.0	S58.9.28	1/150	51.0	S62.8.31	1/30	48.0	H16.9.29	1/15	48.0	S63.6.25	1/15	46.0	H7.7.3	1/8	
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続干天日数 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(3) 営農状況

市 町 村 名	東みよし町						計	平 均	作付率 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)	738						738			
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)		
水 稻	179	468					179	468	24.3%	
小 麦	8	384					8	384	1.1%	
大 豆	2	28					2	28	0.3%	
その他	549	-					549	-	74.3%	
計	738								100.0%	
市町村別 延作付率 (%)	100.0%									

(4) 水利状況

事 業 名	項 目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備 考
農村地域防災減災事業	井堰							
	自然取水口							
	貯水池	1.0	6.2	前刃金 フィルダム	堤高 5.1m 堤長 40.0m 貯水量4,400m ³	不明	堤体の余裕高不足 洪水吐の能力不足 耐震性能の不足	
	揚水機							
	その他							

第5章 基本計画
 第1節 一般計画の概要
 (1) 受益面積

6.2ha

(2) 土地利用計画

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地 (ha)								山 林 (ha)		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)		普通畑	牧草畑	果樹園	桑園	茶園	その他の樹園地	用地林	薪炭林					
		1毛作田	2毛作田以上													
農村地域防災減災事業	東みよし町	4.7	-	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.2	

第2節 主要工事の概要

堤体工 1.0式
 洪水吐工 1.0式
 取水施設工 1.0式

第3節 環境との調和への配慮

農業・農村の有する面的機能に十分に配慮して、自然環境の保全・創出・再生・歴史文化的遺産の保全を加味したうえで、地域と調和した整備を行う。

- ・生態系保全…生態系に配慮した道路、水路の整備
- ・水系ネットワークの保全…地域住民への水質保全意識の啓蒙、関係機関の指導及び監視
- ・うるおいのある生活空間の整備…地域住民に対する環境整備の啓蒙

第6章 工事又は管理の要領

当該事業で建設した施設（第5章第2節のすべての施設）は、適正な管理に努める。

第7章 換地計画の要領

該当なし。

第8章 費用の概算

第1節 概算総事業費

当該施設の施工に要する費用は次のとおりである。ただし物価変動、事業実施の工事状況などにより変動する場合がある。

(単位：千円)

工事費	事務費	計
205,000	10,250	215,250

第2節 概算総事業費の負担内訳

(単位：千円)

	国	県	東みよし町	農家	計
工 事 費	112,750	69,700	14,965	7,585	205,000
工雑・事務費	-	10,250	-	-	10,250
負担額合計	112,750	79,950	14,965	7,585	215,250

第9章 効用

第1節 想定被害額

(単位：千円)

	被 害 額
作 物	3,308
農 地	14,769
農 業 用 施 設	250,343
公 共 施 設	107,669
家 屋 そ の 他	664,233
計	1,040,322

第2節 効果

(単位：千円)

	数 値
維持管理費節減効果	▲ 5
災害防止効果（農業）	13,202
災害防止効果（一般）	25,783
災害防止効果（公共）	4,501
年総効果（便益）額	43,481
総事業費（現在価値化）	202,132
総便益額（現在価値化）	942,238
総費用総便益比	4.66

第10章 他事業との関係

該当なし。

